

## 議 事 録

会 議 の 名 称	令和2年度第2回坂戸市自殺対策計画審議会
開 催 概 要	書面決議による
会 長 の 氏 名	浅野 憲一
出席者（委員）の氏名	河内 裕介、浅野 憲一、岩上 和弘、加藤 新一朗、戸沢 啓子 竹原 陽一、山田 真、三ヶ田 猛、内藤 武、新井 勇、長堀 宣幸 井手 和夫、菅原 由紀子、力石 まり子、西村 裕子 計15名
議 事 次 第	1 自殺者の状況について 2 令和2年度生きるための支援施策に関連する事業の実施報告（基本施策、重点施策）
配 布 資 料	令和2年度第2回坂戸市自殺対策計画審議会（説明文） 資料1 自殺者の状況 資料2-1 令和2年度生きるための支援施策に関連する事業の実施報告（基本施策） 資料2-2 令和2年度生きるための支援施策に関連する事業の実施報告（重点施策） 令和2年度第2回坂戸市自殺対策計画審議会質問書
議 事 の 内 容	
質 問 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委 員	資料2 うつ病だけが必ずしも自殺率が高い精神疾患ではないことを考えると他の精神疾患についての啓発活動も有益かもしれない。
事 務 局	うつ病以外の精神疾患が自殺のリスクになることは認識しておりますことから、広報やホームページ等を活用した周知啓発について検討してまいりたいと考えます。 また、自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きていますことから、自殺の実態に関する正しい理解を促進するよう努めてまいります。
委 員	資料2 厚生労働省が生活保護の積極的な活用を呼び掛けたことが話題となりましたが、パンデミック下であることを考慮するとそれくらい踏み込んだ市民の皆様への周知が必要になるのかもしれない。
事 務 局	（福祉総務課） 「今般の緊急事態宣言等に伴う生活保護業務における対応について」（令和3年1月7日付厚生労働省社会・援護局保護課事務連絡）の通知におきまして「適切な保護の実施」や「保護の弾力的な運用」を実施することとされていることから、本市におきましても、速やかな保護決定等の適切な対応をしているところでございます。

	<p>また、自立相談支援機関であります「坂戸市自立生活サポートセンター」と連携を図り、生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し自立相談支援等を実施し、支援を行っています。</p> <p>広報やホームページの新型コロナウイルスに関連するお知らせ等におきましては、相談窓口や支援・助成制度等について、必要な方に情報が行き届くように努めているところでございます。</p>
委員	<p>資料 2-1</p> <p>No.32 について、鉄道会社と協働して「こころの体温計」のチラシを配布予定とあるが、どのようなチラシでしょうか？鉄道事業者と協働する特性がある性格のものでしょうか。興味深いです。</p> <p>「こころの体温計」とは、携帯電話やパソコンから質問に答えることで、簡単にストレス度や落ち込み度をチェックでき、相談機関が表示されます。自分や周囲の方のこころの健康状態を知ることや、不安や問題を抱える方が必要とする支援につながることを促すものであり、自殺対策の一助となる施策と考えております。</p> <p>鉄道会社におきましても、積極的に自殺対策を講じておられることから、事故予防の啓発グッズ等とともに「こころの体温計」のチラシを配布しております。※実施予定でしたが、コロナ禍により鉄道会社でキャンペーンの実施を見合わせている状況です。</p>
事務局	<p>「こころの体温計」とは、携帯電話やパソコンから質問に答えることで、簡単にストレス度や落ち込み度をチェックでき、相談機関が表示されます。自分や周囲の方のこころの健康状態を知ることや、不安や問題を抱える方が必要とする支援につながることを促すものであり、自殺対策の一助となる施策と考えております。</p> <p>鉄道会社におきましても、積極的に自殺対策を講じておられることから、事故予防の啓発グッズ等とともに「こころの体温計」のチラシを配布しております。※実施予定でしたが、コロナ禍により鉄道会社でキャンペーンの実施を見合わせている状況です。</p>
委員	<p>資料 2-1</p> <p>No.86 について、生徒の SOS の出し方教育とは具体的にどのようなことをするのか。私は、学校現場に SOS を受け留める能力があるのかということの方が問題と考えています。</p>
事務局	<p>(学校教育課)</p> <p>学校の相談室や教育センターでの電話や来所による相談業務から、近年悩みや困難な状況を一人で抱え込んでしまう児童生徒が増えている現状が見られます。そこで、身近な人や信頼できる大人につなげることができる力を身につけさせることが重要であると考えております。</p> <p>市内小中学校では、道徳の授業で各学年の教科書の中にいじめに関わる資料があり、1人で抱え込まずに、適切に援助希求行動をとれることが必要であることを伝えるとともに、県から出されている各相談窓口を周知しております。また、学級活動で、ソーシャル・スキルを養う活動の1つとして、ストレスへの対処方法や悩みや相談を互いに聞く活動を取り入れている学校もございません。</p> <p>しかし、文部科学省や東京都教育委員会が示しているような系統だった SOS の出し方に関する教育までは実施できておらず、SOS の出し方に関する教育を充実させる必要性を感じております。ま</p>

	<p>た、指摘いただいているように、SOSを受け止める教員への研修も重要と考え、カウンセリングの研修会等に教員を派遣しているところでございます。</p> <p>今後、SOS の出し方や受け止め方について資料など情報やご助言があれば、是非ご提供いただければと考えます。</p>
委員	<p>資料 2-1、2-2</p> <p>P2, 8, 11 において項目 (No.) の順序が大分入れ替わっているが、その説明が必要と思います。</p>
事務局	<p>実施報告を整理するにあたり、「坂戸市いのち支える自殺対策計画」第 4 章生きるための支援施策の並び順にそろえました。</p>
委員	<p>資料 2-1、2-2</p> <p>行政の所管業務を記述していると思われる事項 (例：窓口の周知を図ります等) の実施状況に「左記のとおり」とありますが、評価していると読めません。昨年と比較してどうなったか、「関心のある人には一言説明して手渡すようにした」などの積極的な記述がほしいところです。</p>
事務局	<p>生きるための支援施策に関連する事業の実施報告につきましては、基本的には自殺対策計画に基づく事業について、どのように実施したかを把握するためのものであることから、事務局の記載例でも「左記内容のとおり」と例示しているため、このような回答が多くなっております。しかしながら、よりわかりやすい報告になりますよう、今後は様式や記載例等の工夫について検討してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>説明文及び資料 2-2</p> <p>説明文において資料 2-2 の 4 ページ、No.36～49 についての説明が抜けています。</p>
事務局	<p>説明を追記した説明文を送付します。</p>
委員	<p>資料 2-2</p> <p>No.42 (No.47) について、「具体的な実施内容」に対して「実施状況」に「左記のとおり」とありますが、教員研修会や授業研修会をどのように実施したのか不明です。PDCA をきちんと実行する必要があると思います。健康センター所管部分はおおむね評価できていると思います。</p>
事務局	<p>(教育センター)</p> <p>実施状況についてお答えします。市内小中学校に対して、2 学期以降に ZOOM による全体研修と、講師が各学校で授業を参観し、授業研究を通して効果的な指導法を学ぶ研修を合計 15 回実施しております。今後につきましては、具体的な実施内容を記載できるような様式等の工夫を検討してまいります。</p>